

令和元年度 厚生労働省委託事業  
**在宅医療関連講師人材養成事業 研修会**  
 ～高齢者を対象とした在宅医療分野～

**日時** 2020年3月15日(日) 10:00～15:45 日本医師会館 大講堂  
**主催** 日本在宅ケアアライアンス (JHCA)、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団  
**共催** 日本医師会  
**目的** 全国都道府県医師会から推薦された受講者の先生等が、地域において在宅医療に関する地域の実情を踏まえ、推進活動をするためのリーダー役、そして様々な研修会の講師役となれるよう本研修を位置付ける。

総合司会：鶴岡 優子 (日本在宅医療連合学会)

プログラム [午前10:00～11:45]

10:00～10:05	<b>開会の辞・本研修の目的と狙い</b> 新田 國夫 (日本在宅ケアアライアンス)
10:05～10:25	<b>厚生労働省・日本医師会からの期待等</b> ◆在宅医療政策の方向性 鈴木 健彦 (厚生労働省) ◆地域包括ケアシステムとかかりつけ医機能 江澤 和彦 (日本医師会)
10:25～10:45	<b>意思決定支援のありがた 法律家の立場より</b> 稲葉 一人 (中京大学)
10:45～11:30	<b>地域からの報告</b> ◆かかりつけ医の在宅医療【1】 土橋 正彦 (土橋医院：千葉県市川市) ◆かかりつけ医の在宅医療【2】 上村 伯人 (上村医院：新潟県魚沼市) ◆かかりつけ医の在宅医療【3】 鈴木 陽一 (板橋区役所前診療所：東京都板橋区)
11:30～11:45	<b>ワークショップに関する解説と具体的症例提示 3症例</b> 鈴木 央 (全国在宅医療医歯薬連合会)
昼食 (60分)	

プログラム [午後12:45～15:45]

12:45～14:30	<b>ワークショップ (ワールドカフェスタイル)</b> ※1グループ：6～8名 [議論の視点] (参考例) ・かかりつけ医機能としての在宅医療 ・在宅医療と救急医療 (後方病床としての病院との連携) ・意思決定支援 ・地域の実情 ・地区医師会の役割
会場移動 (15分)	小講堂3階、他会議室5階から大講堂へ
14:45～15:30	<b>プレゼンテーション・ディスカッション</b> 座長：飯島 勝矢 (日本老年医学会・東京大学高齢社会総合研究機構) コメンテーター：太田 秀樹 (全国在宅療養支援診療所連絡会) 蘆野 吉和 (日本在宅医療連合学会) 大橋 博樹 (日本プライマリ・ケア連合学会) ※プレゼンテーションは6チーム各5分、「現状⇒課題⇒解決策」という型式で壇上にて発表 ※6名のプレゼンターを交えて壇上でディスカッション
15:30～15:45	<b>総括と閉会の辞</b> 江澤 和彦 (日本医師会)